

## 賑わう夷王山まつり

6月15日、エゾヤマツツジが色鮮やかに咲くなか、毎年恒例の夷王山まつりが開催されました。

前日の宵宮祭はあいにくの悪天候で中止となりましたが、当日は曇り空ながら午後から天候も回復し、恒例のばん馬競争やカラオケ大会、山川豊さんによる歌謡ショー、嵐あげ大会、海上自衛隊大湊音楽隊の演奏会など多彩な催しが行われ、特に演奏会や歌謡ショーではアンコールなどで、大きな盛り上がりを見せていました。

このほかレストハウス付近には地元の飲食店などの出店も並び、来場者は多彩な催しを楽しんでいました。



## 花を育てる

## 心を育てる

6月3日から9日にかけて、町内の各小学校にて人権の花運動が行われました。

これは、法務局が人権意識啓発の一環として、児童が協力し合って花を育てることを通じ、「いのちの大切さ」や「相手への思いやり」を育み、情操をより豊かにするため行っているものです。

町内5つの小学校で行われたこの活動では、児童の手によってマリーゴールドなどの花が約600本植えられ、16日には人権の樹として、早川小学校に桜の木も植樹されました。

児童からは、元気に咲き続けて欲しいから大切に育てますとの言葉もありました。



## 帰ってくる

## その日まで

6月10日、ひやま地域ニシン復興対策協議会（工藤昇会長）が主催するニシンの稚魚放流式が行われ、地元の漁業者や上ノ国保育所の園児などが、約3万尾の稚魚を海へ放流しました。

放流が行われた上ノ国漁港付近は、旧笹浪家住宅に代表される網元の家屋が文化財として残るなど、かつてニシン漁で賑わいを見せた場所でもあります。

長らく途絶えていた上ノ国とニシンの関わりでしたが、数は少ないものの、今では前浜でニシンが漁獲されており、その卵から育てた稚魚が放流されていることから、集まった方々はこれからのニシン復活に向けて大きな期待を寄せていました。



## 助け合いで

## 綺麗な町を

6月5日、婦人防火クラブ（品田俊子会長）による大安在地区海岸のボランティアクリーン作戦が行われました。

大安在地区の浜辺は人家が少なく、広範囲にわたって漁具や発泡スチロール、海外の容器などが漂着するため、清掃には大変な労力が必要とされています。

このことから婦人防火クラブでは、年1回、同地区の清掃活動を、町内全地区の会員が一丸となって行い、清掃後は綺麗な海岸線が広がっていました。

